

経営比較分析表（平成29年度決算）

福島県いわき市 総合磐城共立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	26	対象	ド透I未訓ガ	救臨が感災地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
327,090	56,479	非該当	7:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

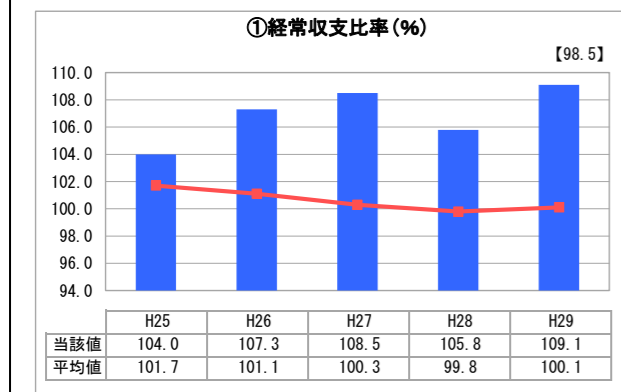
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
709	-	46
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	6	761
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
691	-	691

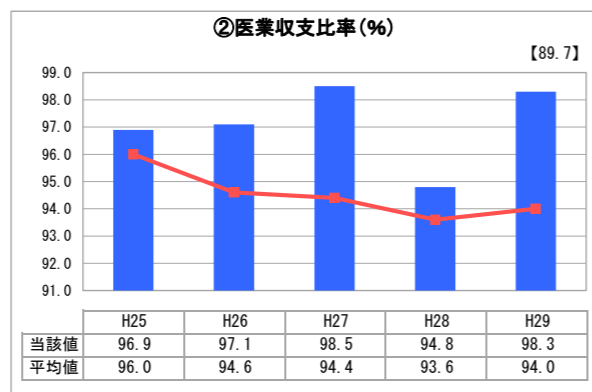
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- [] 平成29年度全国平均

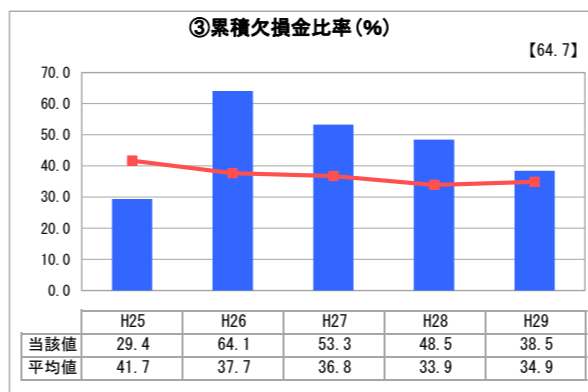
1. 経営の健全性・効率性



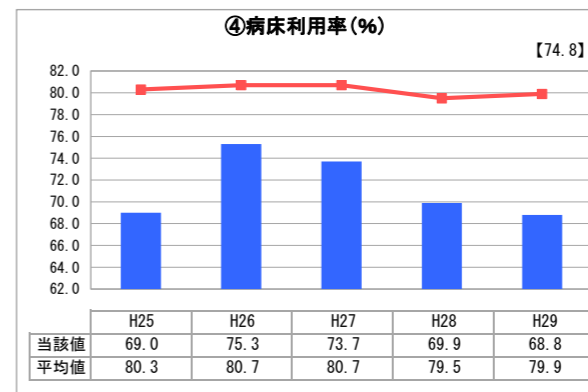
「経常損益」



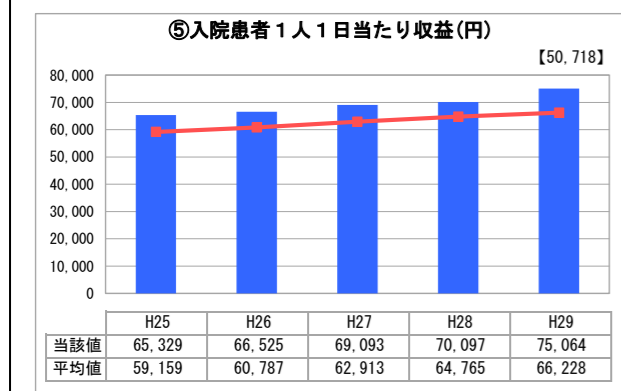
「医業損益」



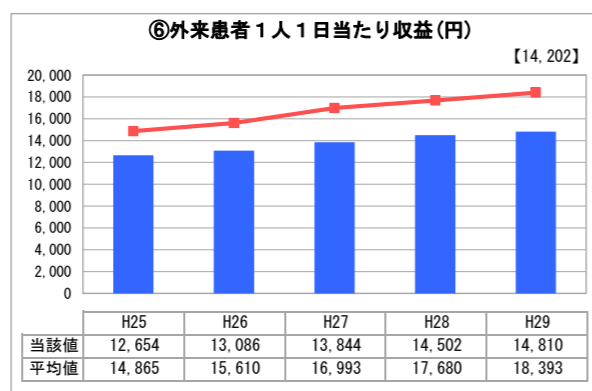
「累積欠損」



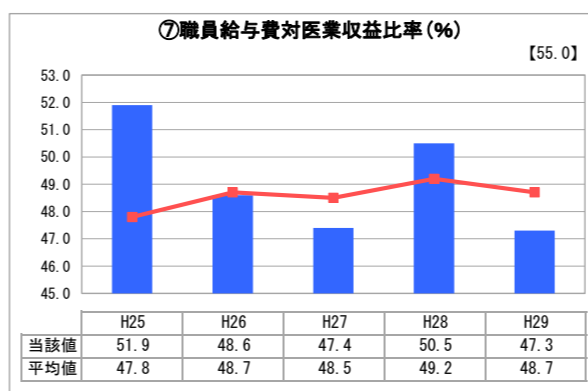
「施設の効率性」



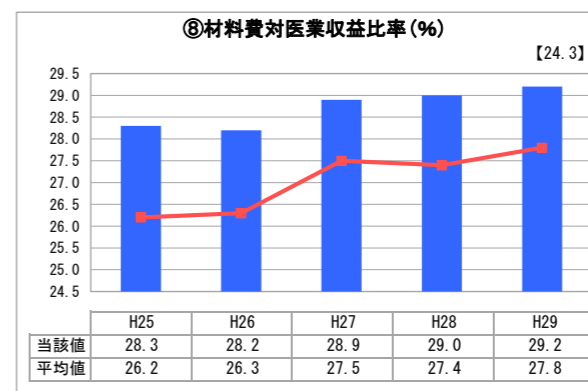
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

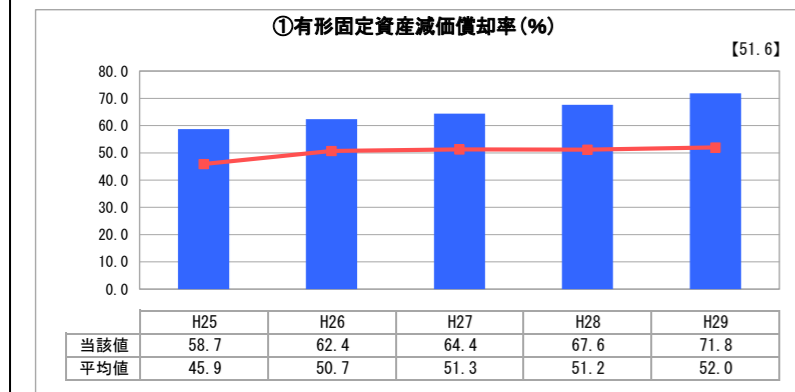


「費用の効率性①」

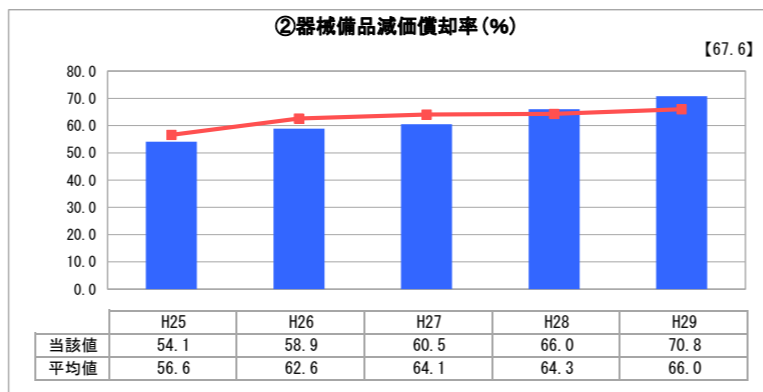


「費用の効率性②」

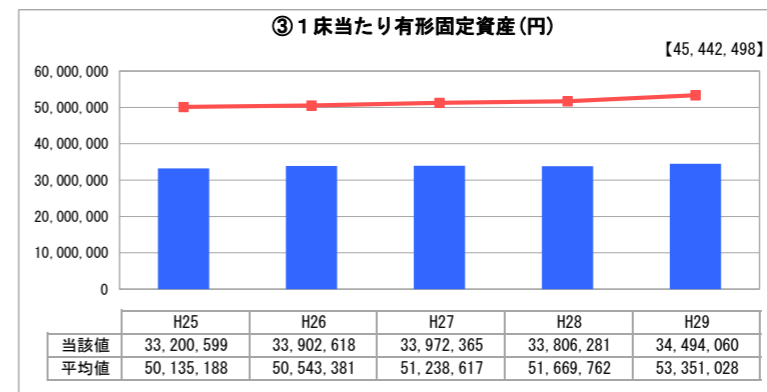
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

福島県いわき医療圏の中核病院である本院の役割は、救命救急センターを核とした急性期医療の充実と、臨床研修指定病院として将来を担う医療者の育成のほか、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院等としての医療水準の向上であります。こうした役割を永続的に果たしていくには、ハード・ソフト両面からの強化が必要であるため、新病院(平成30年12月開院。新名称：いわき市医療センター)の整備を進めながら、経営基盤の強化に努めています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・「①経常」は常に100%を上回っており、「②医業」と共に類似団体平均(以下「平均」という)を上回って推移しています。「③欠損」は平成26年度の制度改正に伴う退職給付引当金の一括計上により一時的に増加したものの、その後は着実に減少しております。
- ・「④病床」は在院日数の減により減少しています。「⑤入院」は常に平均を上回っているものの、「⑥外来」は常に平均を下回っています。
- ・「⑦給与」は減少傾向にあり、平均を下回っています。
- ・「⑧材料」は高額薬品の使用が伸びていることなどから、通増傾向にあります。

2. 老朽化の状況について

- ・老朽化の状況のうち、「①有形固定資産減価償却率」は平均を上回っており、その乖離は増す傾向にあります。こうした老朽化に対処するため、平成23年に新病院基本構想を策定して建設事業を進めており、平成30年12月には新病院が開院します。
- ・「②機械備品減価償却率」は計画的に更新を進めていることから、ほぼ平均で推移しています。
- ・「③1床あたり有形固定資産」は、上述の新病院建設を踏まえ、可能な限り投資を控えていることから、平均を大きく下回っています。

全体総括

経営状況は、概ね健全であると判断しています。「④病床利用率」は平均を下回っていますが、新病院では許可病床数を引き上げるほか、地域医療連携推進等の改善により新入院患者の増加に努めることとしています。「⑧材料費対医業収益比率」は増加傾向にありますが、購入方法等の改善に努めています。当面は、75歳以上の人口の増加等により医療需要が一定程度維持され、医業収益は確保できるものと見込んでいますが、消費税率の改正や材料費・経費の変動の影響も予想されることから、これまで以上に経営の健全性と効率性を高めていく必要があります。新病院では、医療の質の向上と患者サービスの充実と努めるとともに、更なる経営の安定化に努めていくこととしています。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。